

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 日本ロジテム株式会社
 コード番号 9060 URL <http://www.logitem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 川口 要
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3433-6711

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,801	9.4	230	—	220	—	△41	—
2019年3月期第1四半期	11,698	7.4	△96	—	△86	—	△81	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △63百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △305百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△30.00	—
2019年3月期第1四半期	△59.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	37,789	10,784	28.3	7,802.29
2019年3月期	38,071	10,902	28.3	7,887.31

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,676百万円 2019年3月期 10,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	6.3	800	92.5	700	56.2	250	215.8	182.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	1,383,310 株	2019年3月期	1,383,310 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	14,909 株	2019年3月期	14,909 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	1,368,401 株	2019年3月期1Q	1,368,423 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調が継続する中、米中貿易摩擦に伴う世界経済の不確実性の高まりが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましては、人手不足の深刻化や人件費等のコストが上昇するなど、取り巻く環境は厳しいものでありました。

このような状況の中、当社グループは既存業務の収益性向上を図りながら、中期経営計画の基本戦略に定めた「輸送力の強化」、「成長市場へのシフト」、「国際物流の強化」にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

国内につきましては、自社車両の増強や拠点の機能強化により通販関連の得意先との取引深耕を図りました。また、4月に「岩舟センター」（栃木県栃木市）を開設するなど、3PL事業の拡大に向けた拠点展開を進めました。

海外につきましては、ベトナムにおける物流事業および旅客自動車運送事業において、組織再編後の業務運営の安定化に取り組みました。また、タイを中心にグループ連携による営業活動を推進し、インドシナ半島地域における国際陸上輸送事業の拡大に注力いたしました。

これらの取り組みにより、営業収益は、通販関連の得意先との取引が拡大したこと、得意先の新たな物流ニーズへの対応により取扱量が増加したことなどから、増収となりました。営業利益および経常利益は、営業収益の増加に加えて、業務の効率化が進展し主要事業の利益率が向上したこと、販売費及び一般管理費が減少したことなどから、前年同期の損失計上から黒字に転換いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期から改善したものの、収益性の低下した事業所に係る固定資産の減損処理に伴う特別損失を計上したことなどから、損失の計上となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は128億1百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は2億30百万円（前年同期は営業損失96百万円）、経常利益は2億20百万円（前年同期は経常損失86百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失81百万円）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①貨物自動車運送事業

営業拡大により新たな配送案件を受託したことや輸送量が増加したことに加え、運送コストの上昇に対して得意先との料金改定や自社車両の稼働率向上を進めた効果があったことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、55億34百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は、3億42百万円（同18.2%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の43.2%を占めております。

②センター事業

通販関連およびインテリア関連の得意先の取り扱いが伸長し、前連結会計年度に開設した拠点を中心に入出荷量が増加したこと、作業習熟度の向上や一部自動化設備の導入等により倉庫内作業の効率化が進んだことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、28億96百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は、1億26百万円（同658.5%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の22.6%を占めております。

③アセット事業

前連結会計年度に開設した拠点において通販関連の得意先の保管面積が拡大したこと、スポット保管貨物等の誘致もあり、既存拠点の倉庫稼働率が高位で推移したことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、28億66百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は、2億66百万円（同26.4%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の22.4%を占めております。

④その他事業

営業収益につきましては、施工関連事業が好調に推移したこと、ベトナムにおける卸売小売事業において大型商業施設向け什器の販売があったことなどから、増収となりました。セグメント利益につきましては、輸出入通関事業および引越移転事業が減少したことなどから、減益となりました。

その結果、営業収益は、15億4百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は、1億48百万円（同2.2%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の11.8%を占めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形及び営業未収入金が1億54百万円減少したこと等により1億48百万円減少し、115億93百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、有形固定資産が1億17百万円減少したこと等により1億34百万円減少し、261億95百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2億82百万円減少し、377億89百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少し、129億81百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、140億22百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1億64百万円減少し、270億4百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金が95百万円およびその他有価証券評価差額金が14百万円減少したこと等により1億18百万円減少し、107億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、今後の計画の進捗状況等を見て判断していくため、現時点におきましては、2019年5月15日に公表しました予想値の修正はありません。

今後、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,460,738	3,484,711
受取手形及び営業未収入金	6,668,513	6,514,092
その他	1,613,872	1,596,285
貸倒引当金	△1,234	△1,225
流動資産合計	11,741,889	11,593,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,514,676	3,473,395
土地	6,808,054	6,808,169
リース資産(純額)	5,216,326	5,209,740
その他(純額)	1,751,046	1,681,549
有形固定資産合計	17,290,104	17,172,855
無形固定資産	932,167	942,039
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,600,935	5,601,345
その他	2,588,952	2,561,262
貸倒引当金	△82,218	△82,177
投資その他の資産合計	8,107,669	8,080,429
固定資産合計	26,329,941	26,195,324
資産合計	38,071,831	37,789,188
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,760,299	2,500,259
短期借入金	6,410,635	6,484,109
賞与引当金	344,533	124,714
その他	3,606,556	3,872,878
流動負債合計	13,122,024	12,981,961
固定負債		
長期借入金	7,172,477	7,107,918
リース債務	4,932,271	4,911,085
役員退職慰労引当金	178,273	181,921
退職給付に係る負債	185,591	187,925
その他	1,578,468	1,633,719
固定負債合計	14,047,081	14,022,569
負債合計	27,169,105	27,004,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,072	3,190,072
利益剰余金	4,719,692	4,623,904
自己株式	△37,215	△37,215
株主資本合計	11,018,504	10,922,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,136	52,246
為替換算調整勘定	△531,127	△526,214
退職給付に係る調整累計額	238,483	227,907
その他の包括利益累計額合計	△225,507	△246,060
非支配株主持分	109,727	108,000
純資産合計	10,902,725	10,784,657
負債純資産合計	38,071,831	37,789,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	11,698,460	12,801,732
営業原価	11,028,830	11,917,275
営業総利益	669,629	884,457
販売費及び一般管理費		
人件費	468,059	412,389
その他	298,342	242,037
販売費及び一般管理費合計	766,401	654,427
営業利益又は営業損失(△)	△96,772	230,029
営業外収益		
受取利息	5,554	5,798
受取配当金	1,204	1,577
受取手数料	4,140	4,111
持分法による投資利益	12,616	3,701
リサイクル材売却収入	5,256	7,555
その他	21,311	7,554
営業外収益合計	50,083	30,298
営業外費用		
支払利息	33,108	33,722
為替差損	4,624	2,299
その他	2,440	3,486
営業外費用合計	40,172	39,508
経常利益又は経常損失(△)	△86,861	220,819
特別利益		
固定資産売却益	47,603	17,740
特別利益合計	47,603	17,740
特別損失		
固定資産除売却損	1,047	0
減損損失	-	187,640
特別損失合計	1,047	187,641
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,305	50,918
法人税、住民税及び事業税	37,118	51,863
法人税等調整額	△7,167	38,380
法人税等合計	29,951	90,243
四半期純損失(△)	△70,257	△39,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,733	1,726
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,991	△41,051

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△70,257	△39,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,298	△14,691
為替換算調整勘定	△223,390	1,462
退職給付に係る調整額	△3,410	△10,575
持分法適用会社に対する持分相当額	△22,849	△201
その他の包括利益合計	△235,352	△24,006
四半期包括利益	△305,610	△63,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△299,967	△61,605
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,643	△1,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,217,640	2,387,343	2,677,746	10,282,730	1,415,729	11,698,460	-	11,698,460
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	6,649	6,649	-	6,649	△6,649	-
計	5,217,640	2,387,343	2,684,396	10,289,380	1,415,729	11,705,109	△6,649	11,698,460
セグメント利益	289,716	16,678	211,220	517,615	151,488	669,104	△765,876	△96,772

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理店業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2 セグメント利益の調整額△765,876千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,534,093	2,896,558	2,866,883	11,297,535	1,504,197	12,801,732	-	12,801,732
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	6,469	6,469	-	6,469	△6,469	-
計	5,534,093	2,896,558	2,873,352	11,304,004	1,504,197	12,808,202	△6,469	12,801,732
セグメント利益	342,440	126,516	266,918	735,876	148,162	884,038	△654,009	230,029

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理店業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2 セグメント利益の調整額△654,009千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。